



研究用試薬

## ヒストファイン

第一抗体  
抗ウロプラキンⅢモノクローナル抗体

(動物種：マウス)

包装： 50テスト(6mL) Code：413401

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

■**特異性および抗原分布**：ヒトウロプラキンⅢ(Uroplakin Ⅲ)と特異的に反応する。ウロプラキンⅢは分子量約47kDaの膜糖タンパク質で、ウロプラキンⅠa、Ⅰb、Ⅱとともに尿路系上皮を形成する移行上皮の被覆細胞であるアンブレラ細胞の形成に関与し、尿路上皮の分化に対する特異的マーカーであることが示されている。正常ではヒト腎盂、尿管、尿道、膀胱などの移行上皮の細胞表面に強い染色がみられる。腫瘍では移行上皮癌の60%に発現がみられるが非移行上皮系の癌には発現がみられない。移行上皮癌や卵巣腫瘍の中で移行上皮が関与しているブレンナー腫瘍、移行上皮癌と乳頭腫(内反型)の区別にも役立つ。また、転移性の由来が不明な癌組織において尿路系の癌のマーカーとして有用である。

■**クローン名**：AU1

■**抗体のサブクラス**：IgG1

■**免疫原**：ウシ膀胱より調製した膜成分(Asymmetric unit membrane)

■**由来**：プロテインAアフィニティークロマトグラフィーを用いて精製して得ている。

### 1. 内容

第一抗体・・・抗ウロプラキンⅢモノクローナル抗体(動物種：マウス)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と、0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に6mLを含む。

### 2. 使用目的

組織・細胞中のウロプラキンⅢの染色。

### \*\*3. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学染色および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

パラフィン包埋切片の場合、前処理(抗原賦活化)としてヒストファイン トリプシン溶液(Code：415101)にて10分間(37℃)処理することが必要である。

スライド上の組織切片が完全に覆われるように第一抗体を2滴(100μL)滴下し、常温(15-25℃)で30分~1時間インキュベートする。\*\*

この反応時間は、ヒストファイン シンプルステイン MAX-PO(M)を使用する場合の目安であり、他のキットを使用する場合は、研究者自身が至適反応時間を調べる必要がある。

### 4. 貯法

2-8℃保存。

### 5. 使用上又は取扱上の注意

ヒト由来の検体は、取扱者に感染を引き起こす危険性がある。従って、適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

## 6. 主要文献

- (1) Sanjay L., et al : Am J Surg Pathol 27 (11) : 1434-1441, 2003
- (2) LIANG. FX., et al : Biochem J. 355 : 13-18, 2001
- (3) Ina R., et al : Virchows Arch 438 : 181-191, 2000
- (4) Ping H., et al : The Journal of Biology 151 : 961-971, 2000
- (5) Olaf, K. , et al : Am J Clin Pathol 113 : 683-687, 2000
- (6) Rok R., et al : Histochem Cell Biol 109 : 263-269, 1998
- (7) Roland M., et al : American Journal of Pathology 147 NO.5 : 1383-1397, 1995
- (8) Xue-Ru W., et al : The Journal of Biological Chemistry 269 : 13716-13724, 1994
- (9) Xue-Ru W., et al : Journal of Cell Science 106 : 31-43, 1993

■ 研究用としてのみ使用すること。